

まんが 子ども太平洋戦争物語

お地蔵さまに なつた信ちゃん



—東京空襲日記—

画・守谷哲己

たいへい ようせん そうちず
太平洋戦争地図



← 日本軍の進路

← 連合国軍の進路

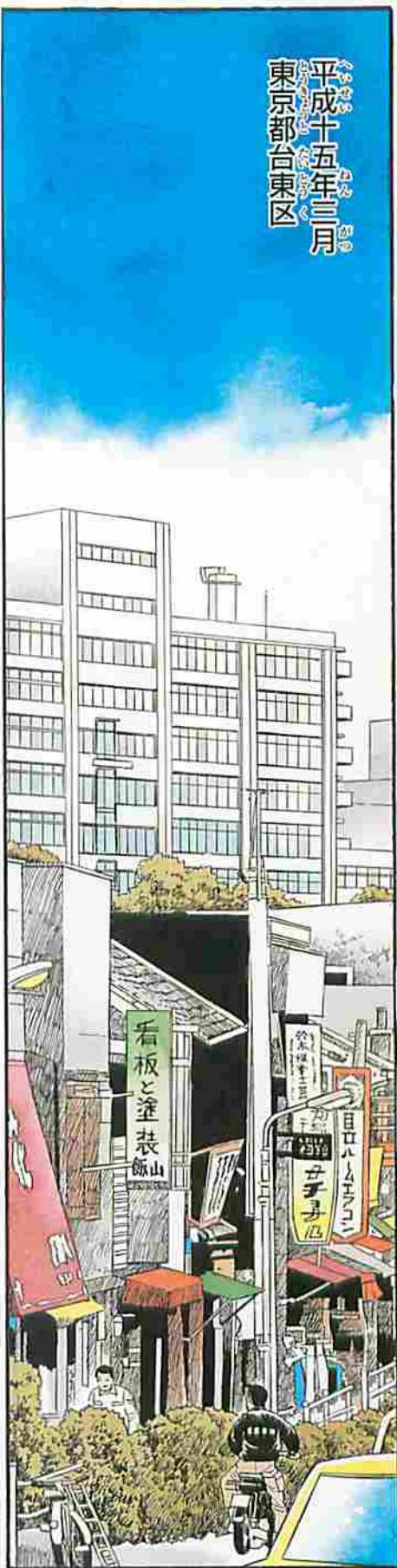
○ 太平洋戦争がはじまったころ(1941年)の日本の勢力範囲

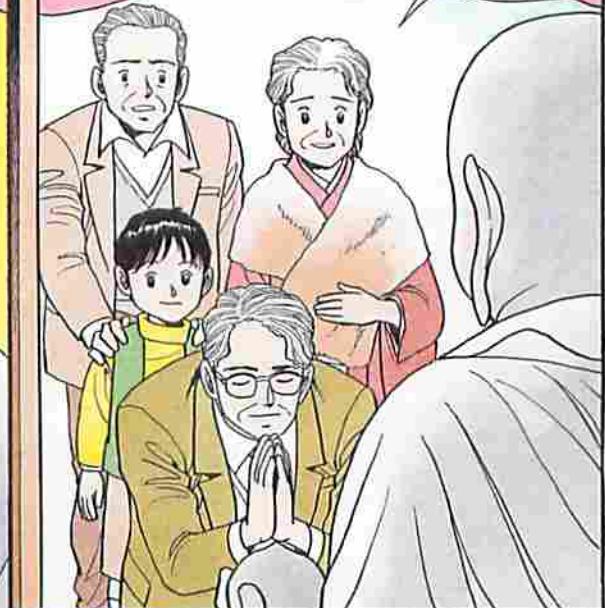
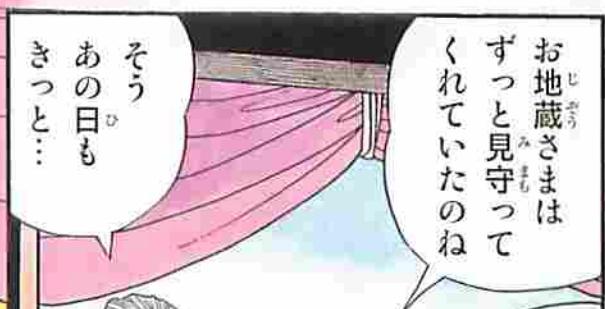
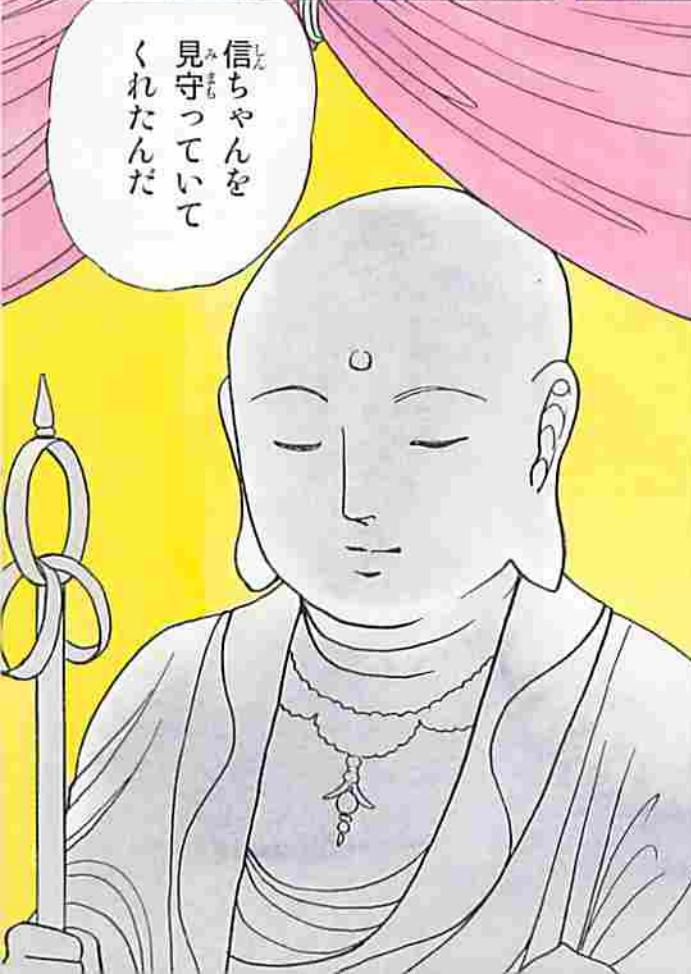
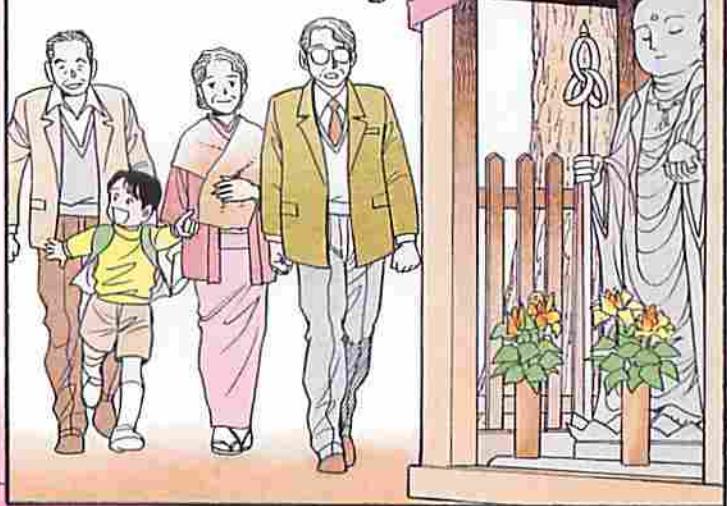
○ 1942年の夏ごろの日本軍の最大侵出範囲

(国名や地名は当時のものです)

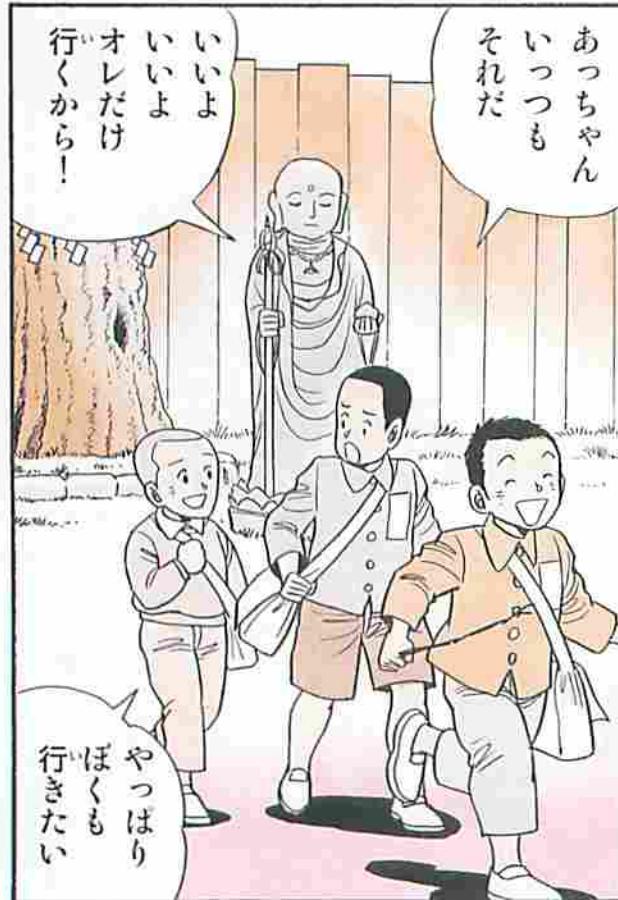
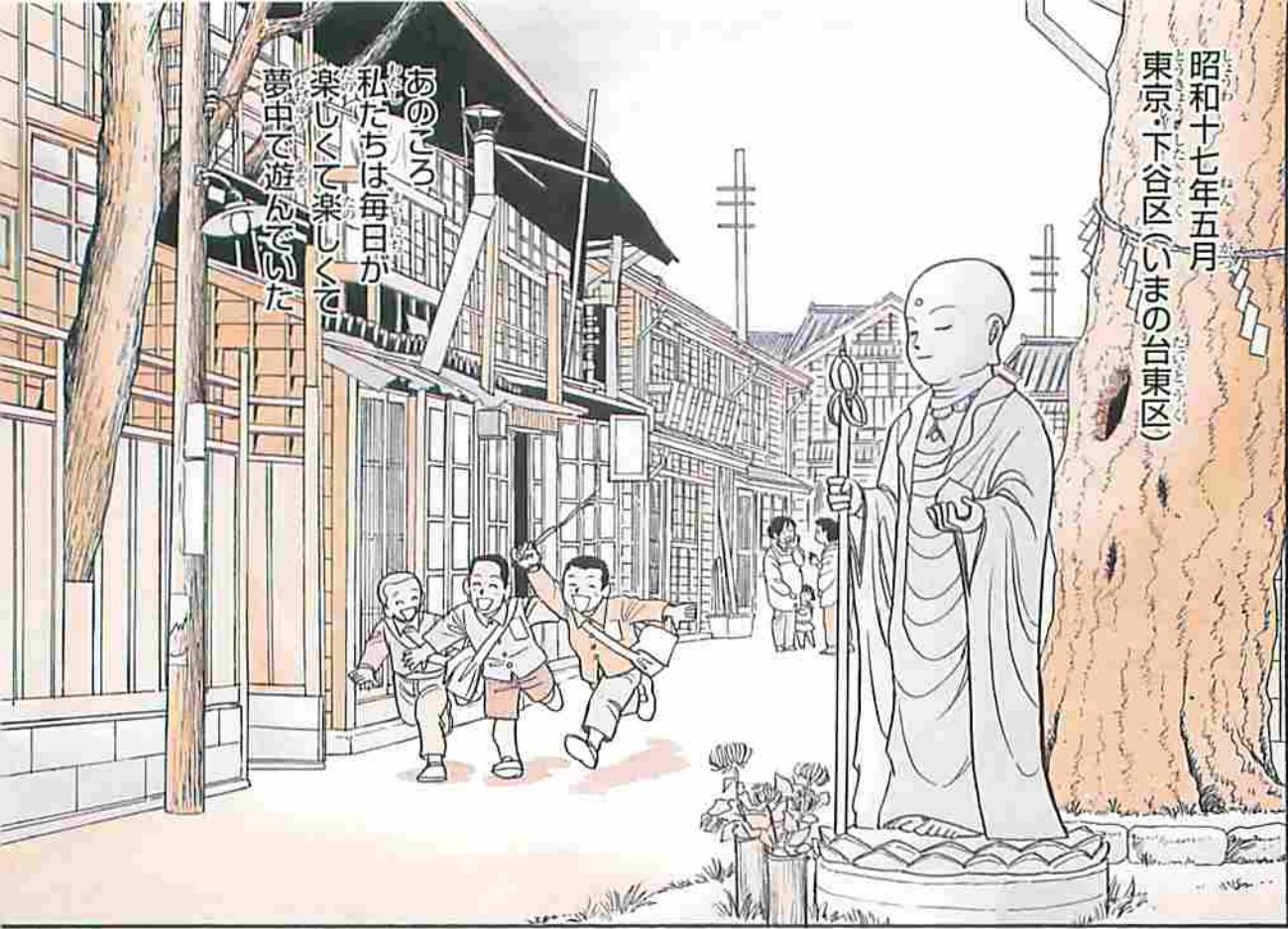


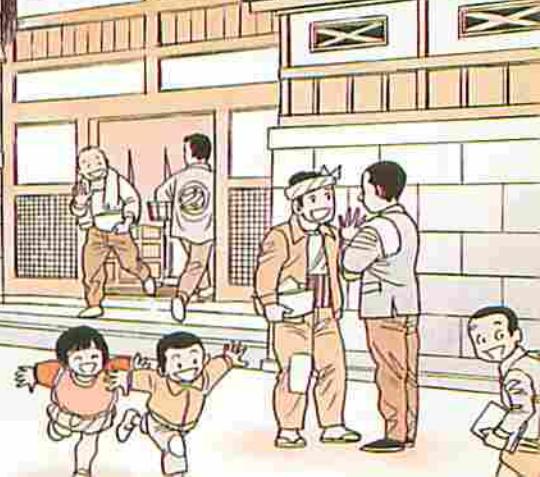
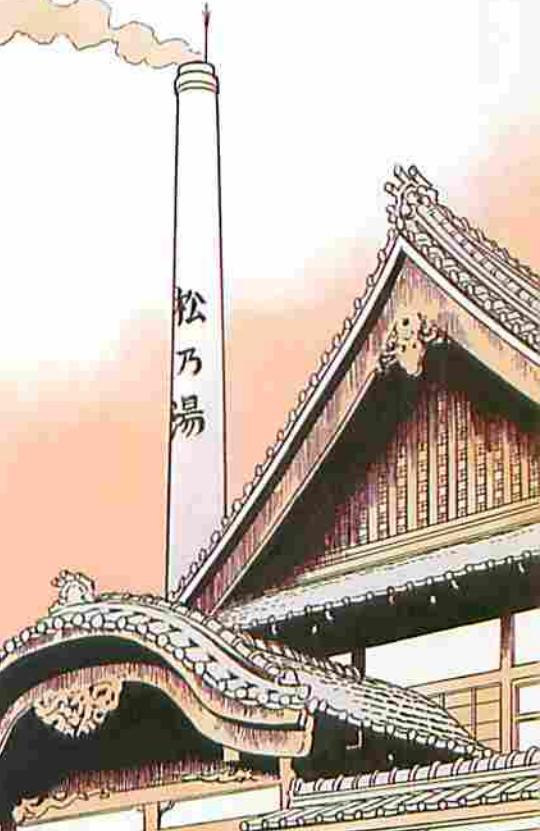
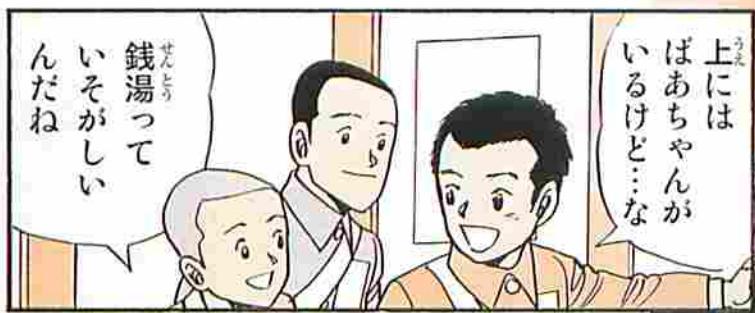
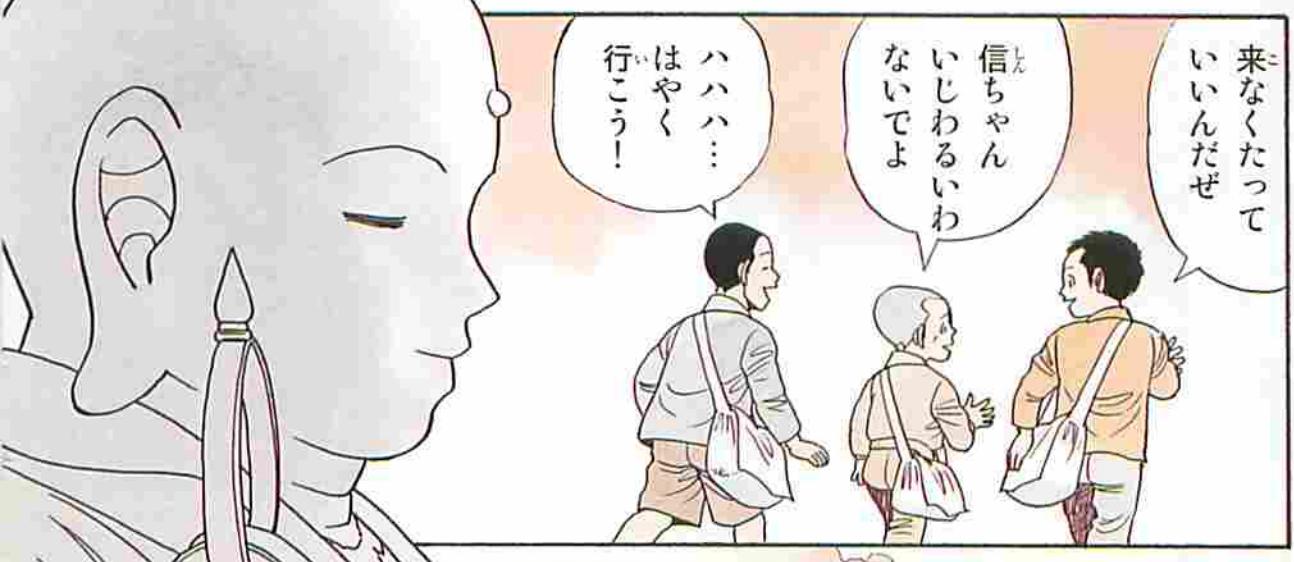
平成十五年三月
東京都台東区





昭和十七年五月
東京・下谷区(いまの台東区)







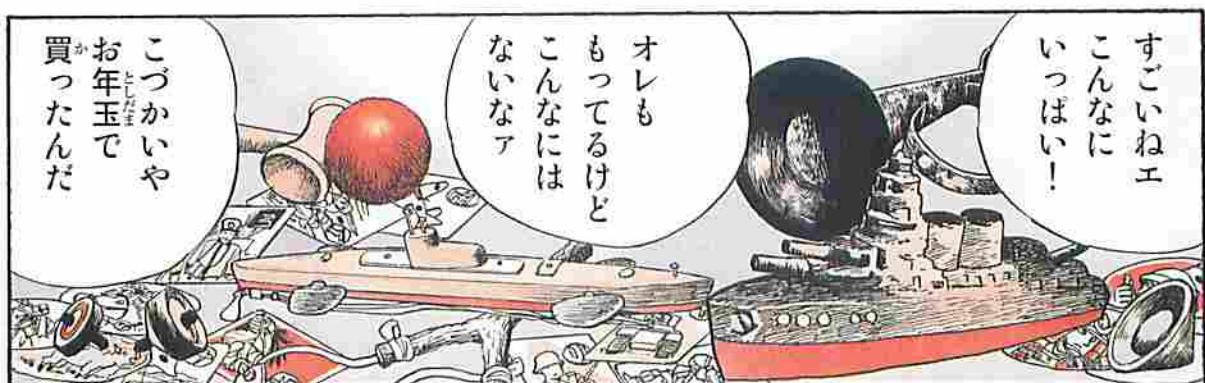
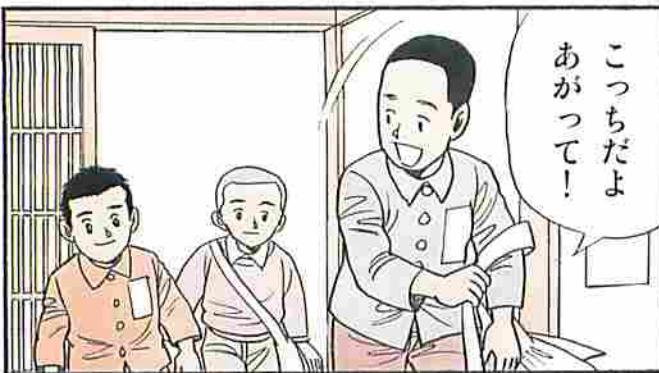


模型飛行機

太平洋戦争が始まった翌年、昭和十七年九月から模型飛行機づくりは学校の授業にとり入れられました。飛行大会が各地で盛んに行われた記録が残っています。つばさのかたちや大きさばかりではなく、その角度やそりぐあいがよく飛ぶかどうかのポイントでした。

模型飛行機づくりは軍国教育のひとつでもありました。子どもたちに飛行機のしくみを教えるとともに、少年飛行兵になるここがれをかき立てる役割もはたしていたのです。

▲子どもたちは「未来の兵隊」として教育された



軍人将棋

軍人の階級や兵器が書かれた将棋のコマで遊ぶゲームです。行軍将棋ともいいます。ふつうの将棋と違い「コマをすべて裏返しに並べます。相手の「コマがなにかを推理しながら交互に「コマを進め、双方のコマが重なると審判役の人

が見て、どちらが強いかを判定します。勝った側のコマは盤に戻して、弱いほうは取りのぞきます。

敵の司令部に入れれば勝ち。子どもたちは遊びの中からも軍隊についての知識を得たのです。

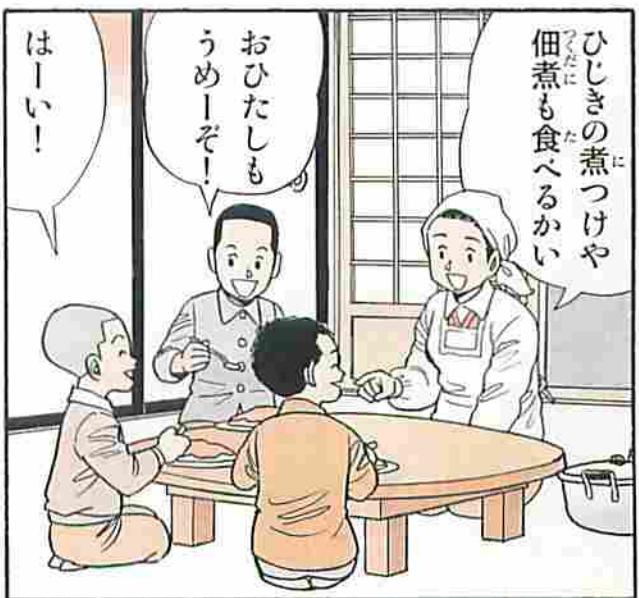
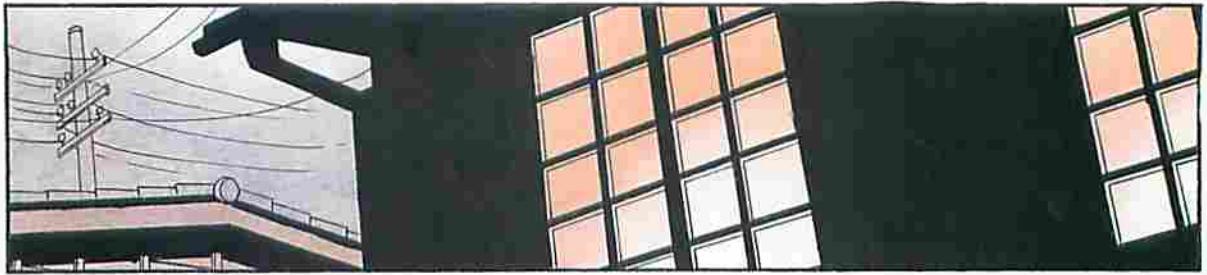
▲軍人将棋で使われるコマ（写真のコマは復刻されたもの）

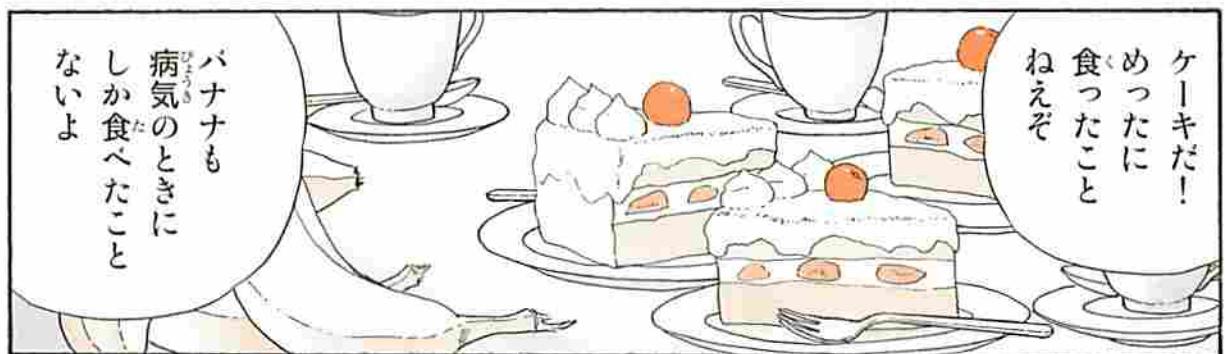


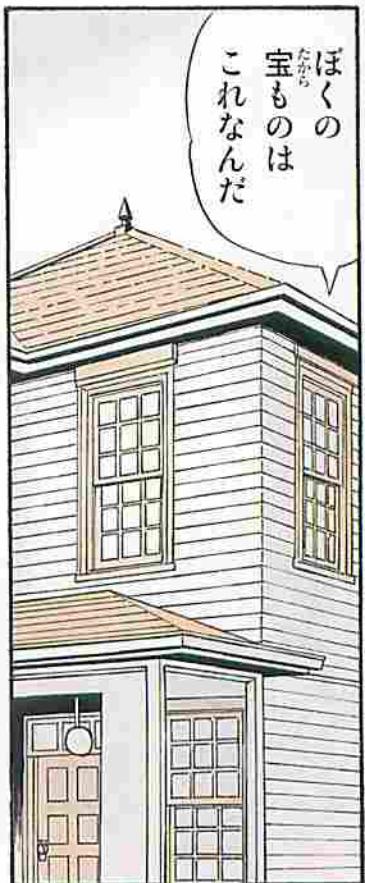
▲お米だけでなく、野菜も店先からなくなってしまった。

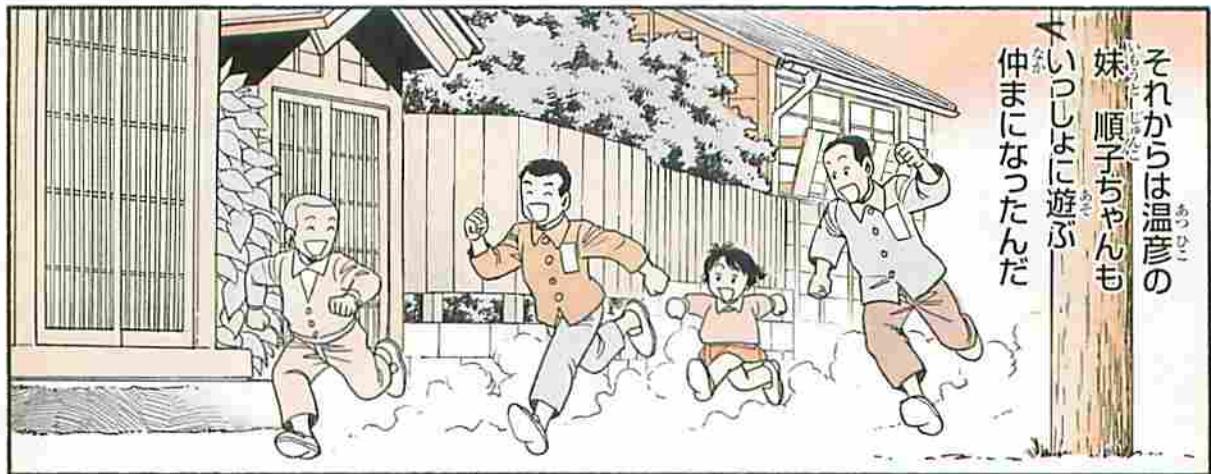
代用食

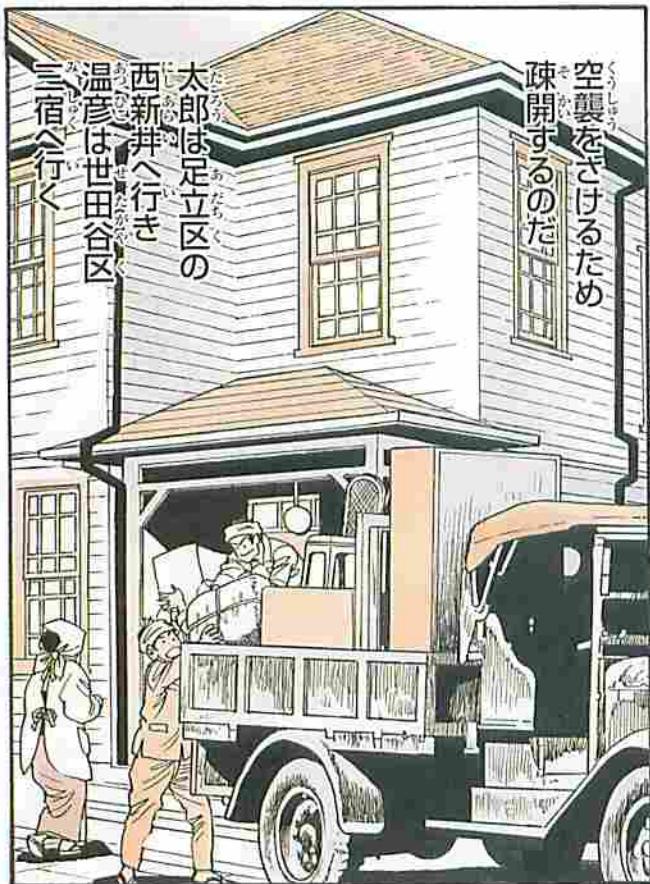
戦争が長引くにつれ、生活に必要なものが足りなくなりました。なかでも、食料がないのは切実な問題でした。代用食というものは、少なくなった米の代わりにほかの食べものを主食にすることです。ミカンの皮や柿の葉、ドングリなど食べられるものはすべて粉にして、だんごや蒸しパンをつくりて飯の代わりに食べました。また、ぞうすいには量を増やすために、サツマイモやカボチャのくきや葉まで入れて食べました。それでも、子どもたちはいつもお腹をすかせていました。









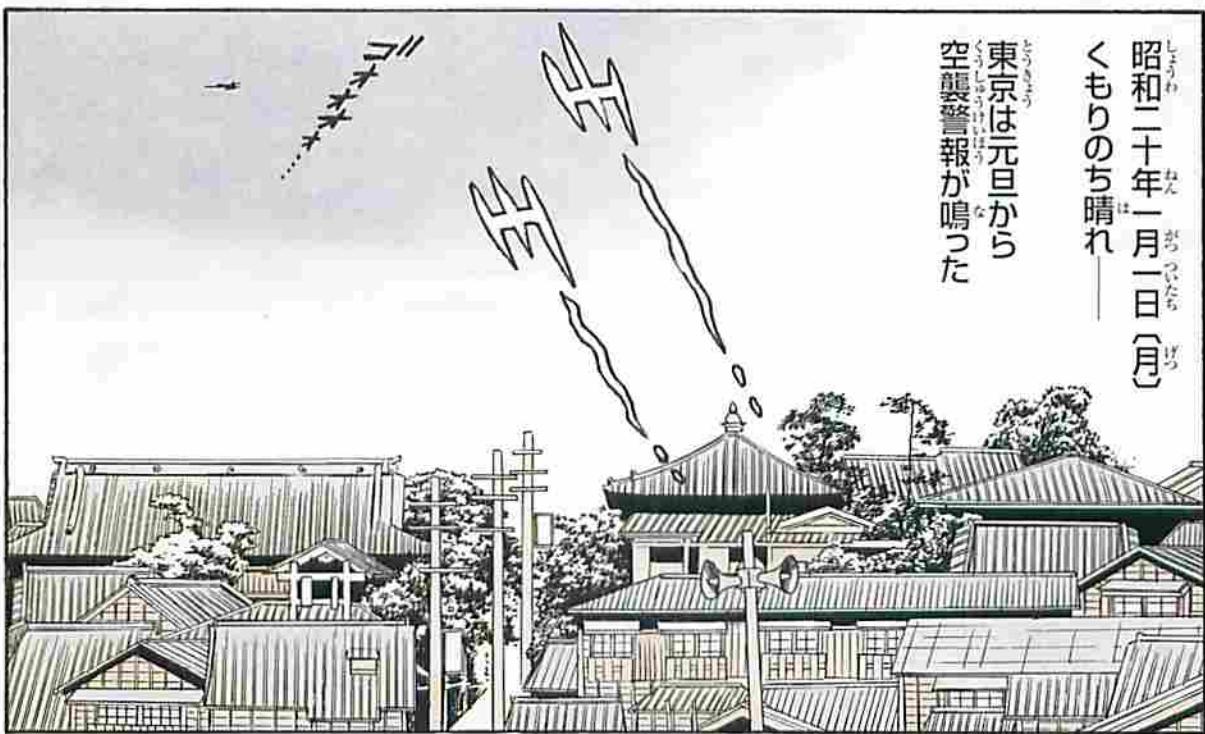


疎開

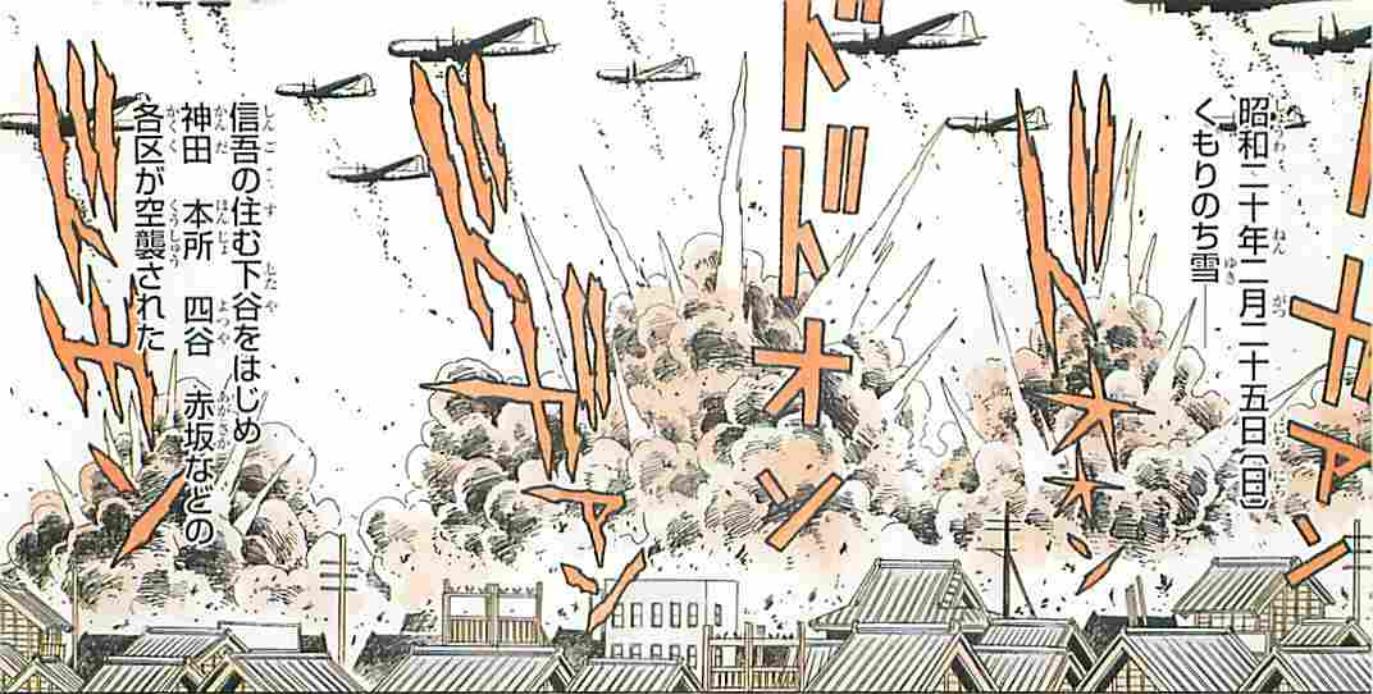
都市部の人やものなどを空襲される危険の少ない地方へ移すことを疎開といいます。昭和十九年ごろまでは、いなかの親せきや知人のところへ行く縁故疎開がすすめられていました。ところが戦況が悪化し、アメリカ軍による大空襲がさけられないと判断した政府は、都市部の子どもたちを学校こと空襲の心配のない農村地帯へ移動させることにしました。これによつて、都会の子どもたちの多くは親元を離れ、慣れない土地でさみしい思いをしながら集団生活することになったのです。

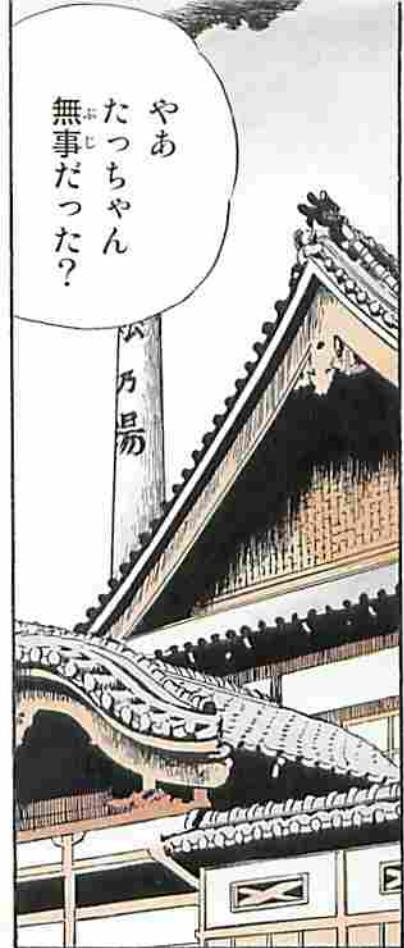


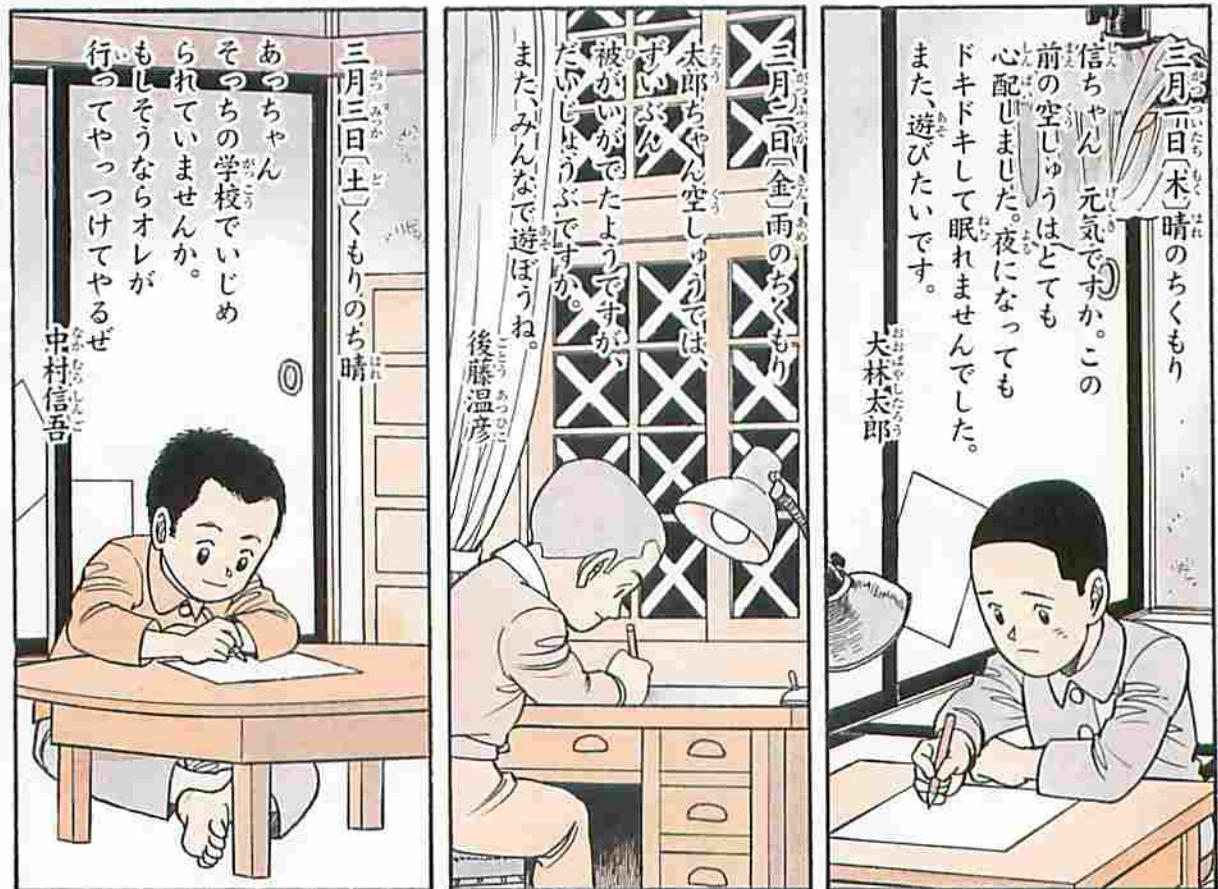
▲疎開先で食事をする子どもたち



昭和二十年一月二十五日〔日〕
くもりのち雪







敵の飛行機が近づいてきていることがわかると、サイレンを鳴らして危険を知らせました。これを空襲警報といいます。このサイレンを聞くと、人々は急いで防空壕(くうそう)など身につけて防空ごとに避難しました。

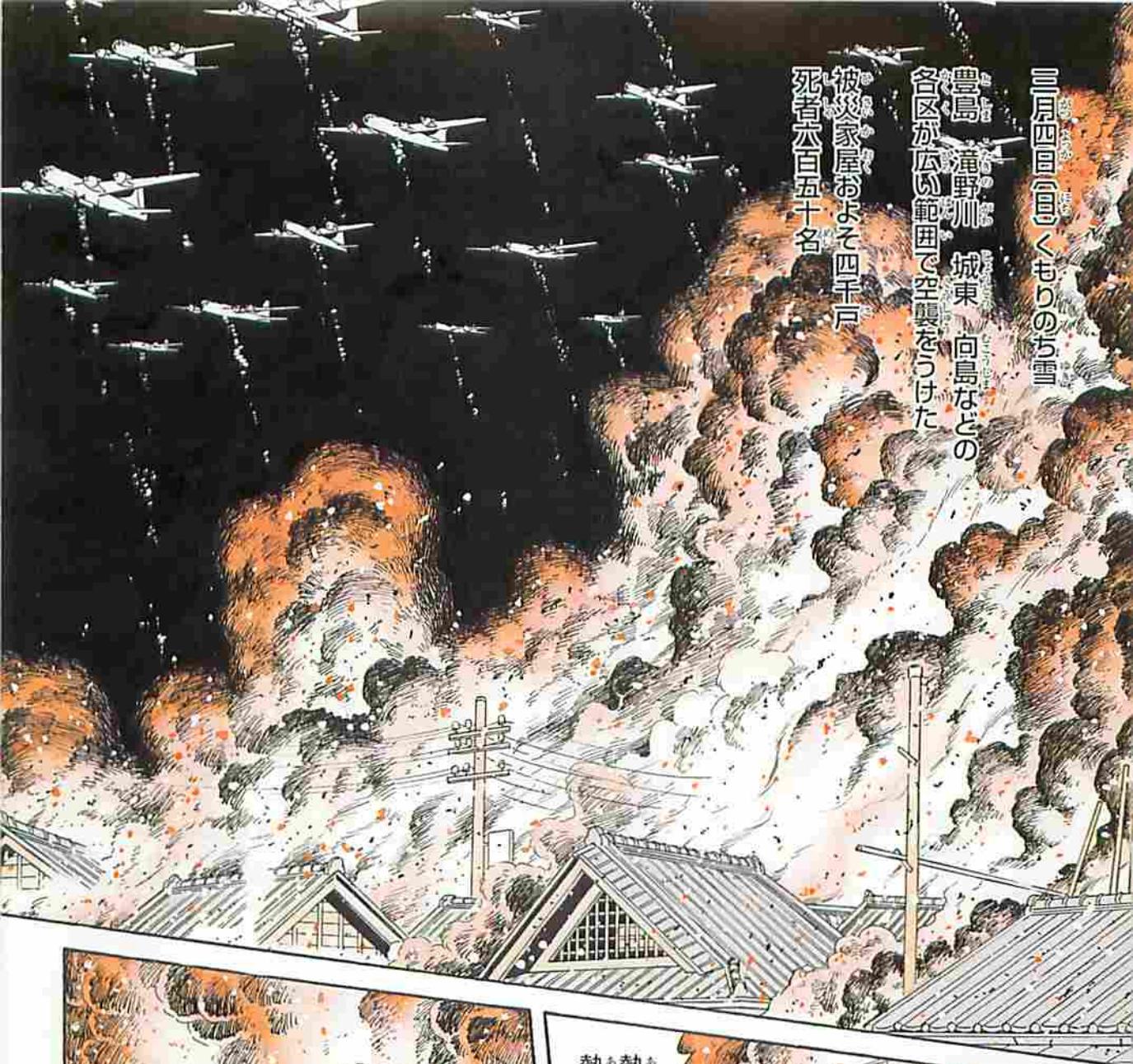
昭和二十年になると、東京では元旦から空襲警報のサイレンが鳴り、ほぼ毎日のように敵の飛行機が飛んでくるようになりました。サイレンが鳴るたびに夜中でも起きて逃げなくてはいけなかつたので、夜もゆっくり寝られませんでした。

空襲警報

三月四日(日)くもりのち雪

豊島 潟野川 城東 向島などの
各区が広い範囲で空襲を受けた

被災家屋およそ四千戸
死者六百五十名



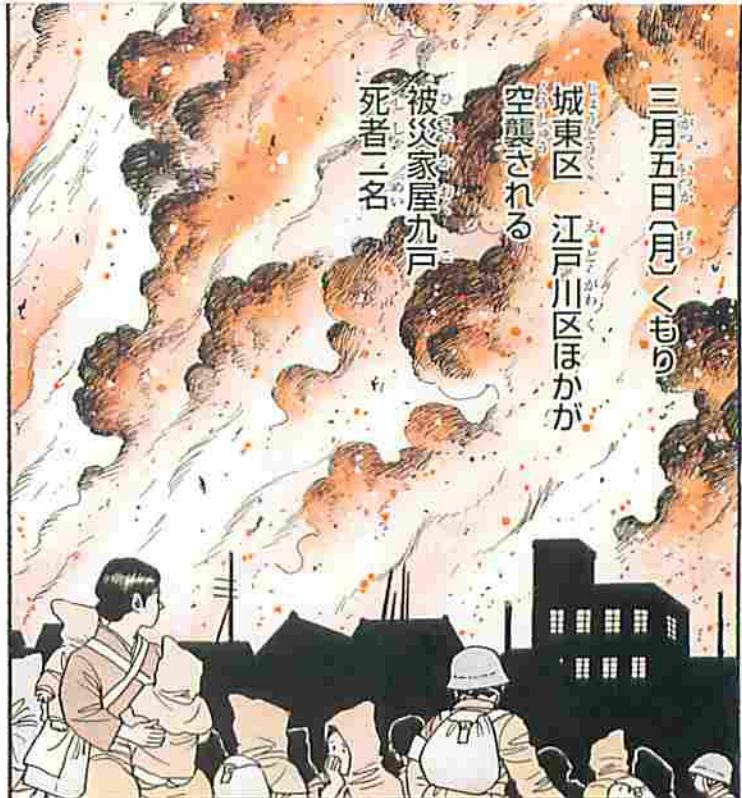
三月五日(月)くもり

被災家屋九戸
空襲される
城東区 江戸川区ほか

死者二名

ねえ 信ちゃんの家
だいじょうぶだった
よね

昨日の被害は
ひどかつたらしい
けど：ねえ





午前〇時を過ぎて間もなく
東京下町の空をあおいつすかのようにな
いきなりB29の大編隊が現れた



B29の航続距離

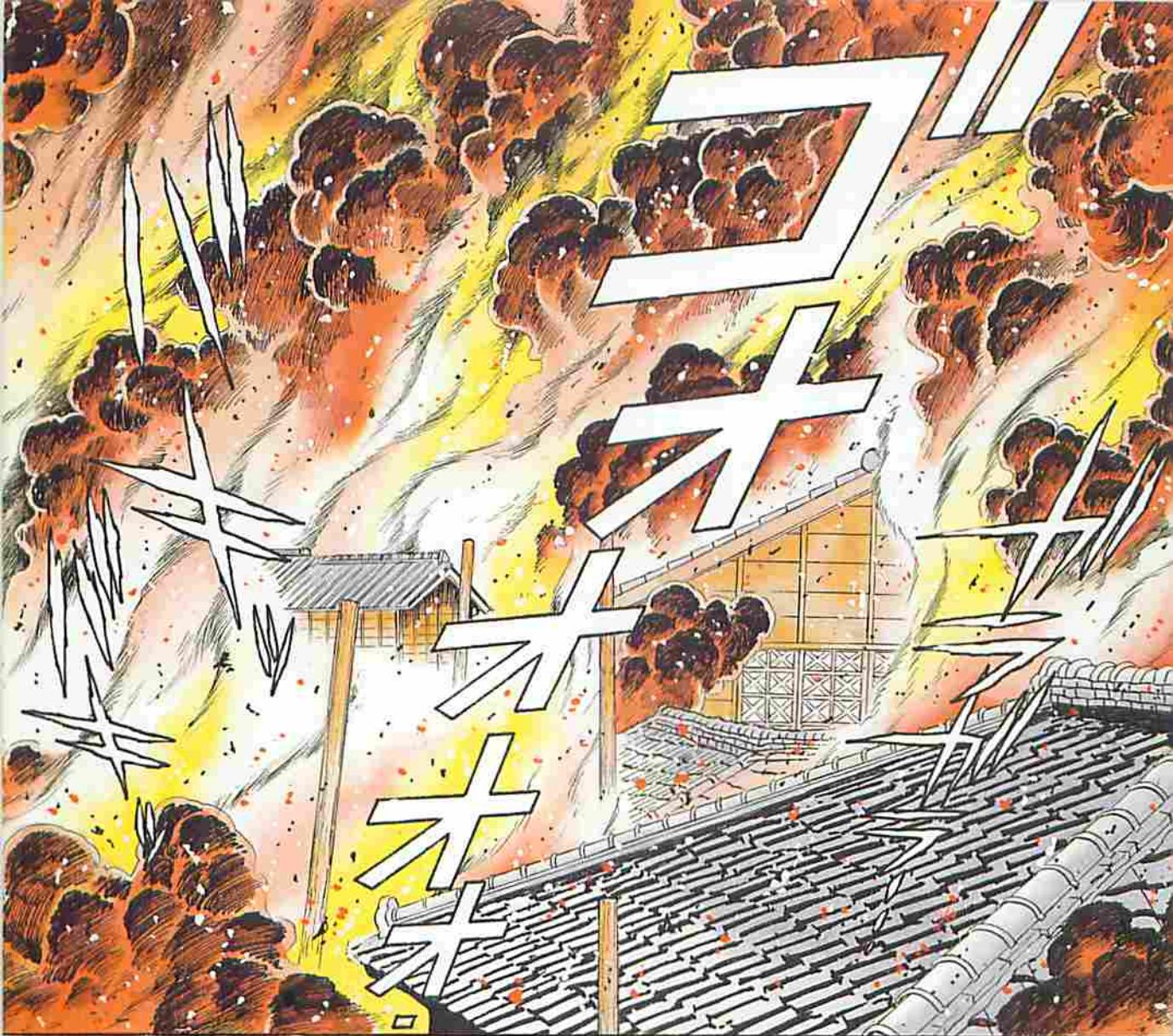


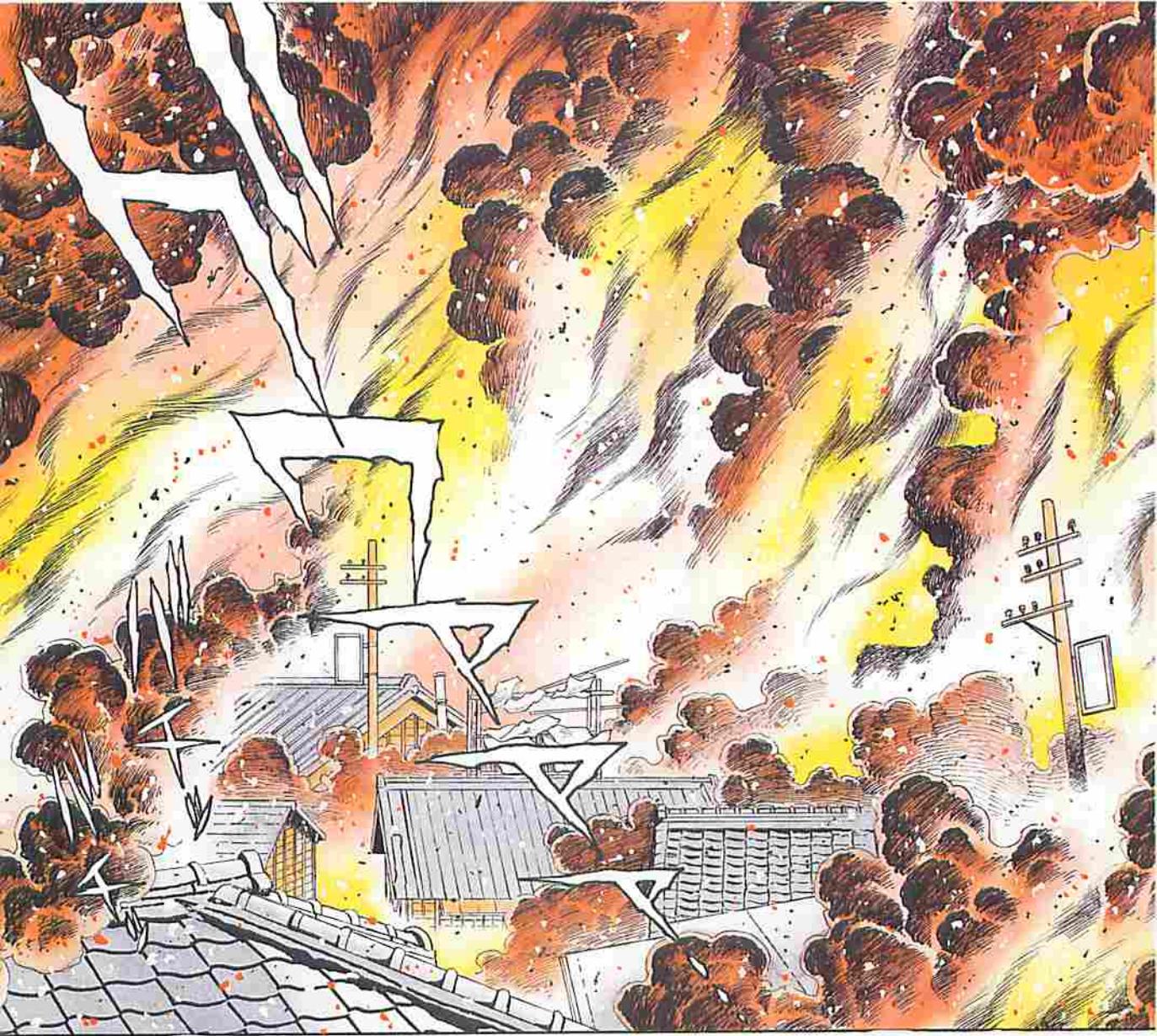
▲B29は一度に五千キロ以上の距離が飛べた

B29

長さ三十メートル、幅四十三メートルの大型爆撃機で、高さ一万メートルの高空を時速六百キロで飛きました。当時としては想像もつかないほどの性能をもつた飛行機でした。

昭和十九年六月十五日、九州北部の八幡製鐵所に対する空襲から始まり、終戦の日までB29は日本各地に爆弾を落とし、多くの町を破壊しました。その間に延べ三万三千四十一機が出撃し、十四万七千トンもの爆弾が投下されたという記録が残っています（「米陸軍航空部隊史」による）。

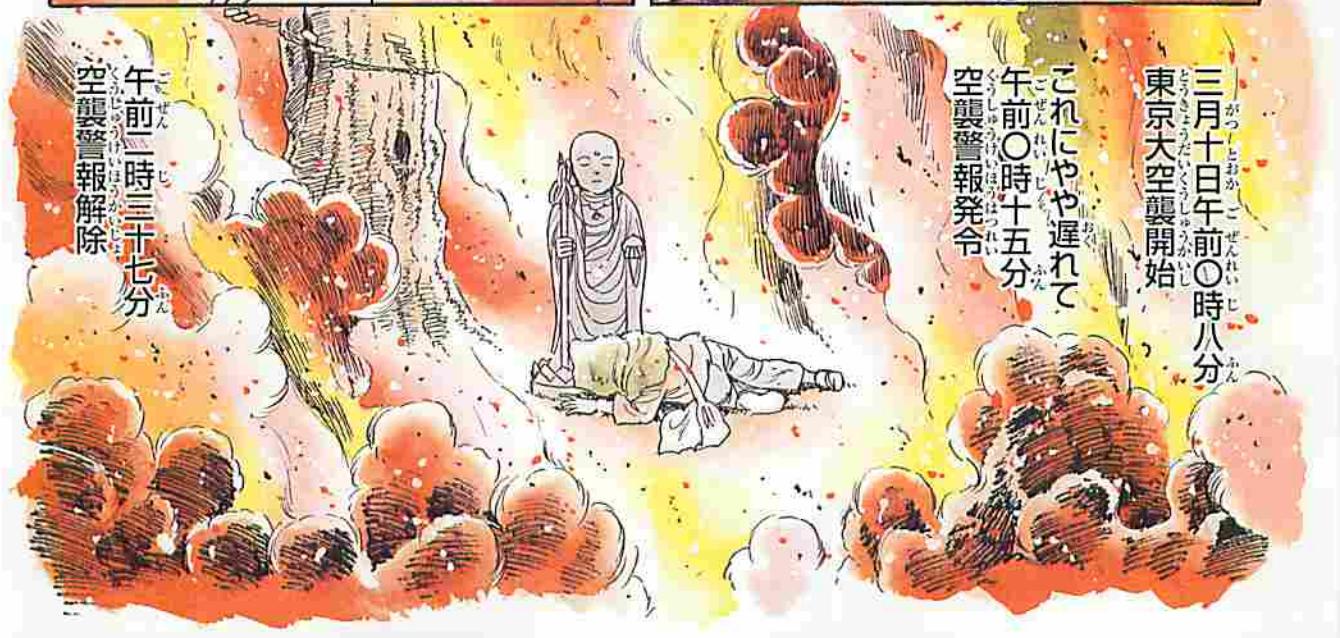






たつちゃん
あつちゃん

かあ
父ちゃん!



この二時間半の間に
江東地区を中心に東京の
下町がほぼ消滅つした

被災家屋および一千七万戸
死者八万人以上



▲東京大空襲で焼け野原となつた東京の町現在の中央区日本橋浜町付近)



道にも 川にも、防空壕にも
いたるところに死体があつた



これは広島や長崎に落とされた
原子爆弾による被害にならふほどの
むごたらしいできごとだった



東京大空襲は武器をもたない
女性や信吾のような子どもまで
まきこんで多数の死者を出した



▲焼け跡の後かづけをする人たち

昭和二十年三月十日〇時八分、
B29は最初の爆弾を東京・深川
地区(いまの江東区)に落としま
した。B29は目標とする場所の
まわりに火災を起こして火の壁
をつくつたあと、逃げまどう人々
にねらいを定め、超低空で大量
の爆弾を落としていきました。

そのせいの多くは女人の人やお
年寄り、そして子どもたちといっ
た武器をもたない人々でした。

二時間あまりの空襲で約百
万人が家を失い、亡くなつた人
の数は八万とも十万ともいわれ、
正確な数は今もわかりません。

東京大空襲

三月十日 金 晴

下谷のほうは
火の海だ！

あれじや
大せいの人
死んじまうぜ

父ちゃん
信ちゃん
だいじょうぶ
かな？

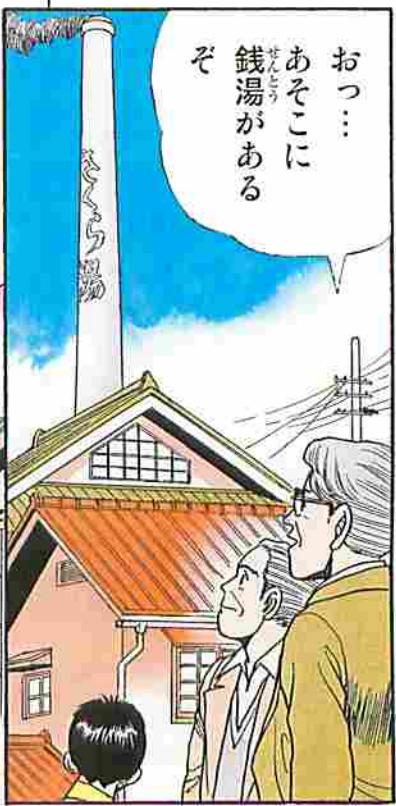
ん…
あの火の
勢いでは…な

信ちゃん…

いやーっ
信ちゃんが
死んじやうよオ

信ちゃん





おもなできごと

1931年(昭和6年)	満州事変が起こる。
	このころから軍人が力をもちはじめる。
1932年(昭和7年)	海軍の将校らが犬養毅首相を暗殺する(5・15事件)。
	政党政治が終わり、さらに軍人の力が強まる。
1933年(昭和8年)	日本が国際連盟を脱退する。
1936年(昭和11年)	陸軍の青年将校たちが高橋是清蔵相らを暗殺する(2・26事件)。
1937年(昭和12年)	日中戦争がはじまる。
	民主主義や自由主義の思想への弾圧がはじまる。
1938年(昭和13年)	国家総動員法の制定で総力戦体制が強まる。
1940年(昭和15年)	日独伊三国同盟が結ばれる。
1941年(昭和16年)	小学校が国民学校と名前がかわる。
	日本の海軍がハワイの真珠湾を攻撃する。太平洋戦争がはじまる。
1942年(昭和17年)	アメリカ軍機が日本をはじめて空襲する。
	日本の艦隊がミッドウェー海戦でやぶれる。
	もの不足のために配給制度が強められる。
1943年(昭和18年)	ガダルカナル島の日本軍が撤退をはじめる。
	中学生以上の学生や女学生が武器をつくる工場などで働くかされる。
	大学生も学業のとちゅうで戦地に行くようになる(学徒出陣)。
1944年(昭和19年)	大都市では国民学校の子どもたちの集団疎開がはじまる。
	サイパン島の日本軍が全滅する。
1945年(昭和20年)	東京などが大きな空襲にあい、焼け野原になる。
	広島・長崎に原子爆弾が落とされる。
	日本はポツダム宣言を受け入れて降伏する。



▲空襲をうけて避難する子どもたち(1945年)



▲焼夷弾を落とすB29(1945年)



▲兵器をつくる工場で働く子どもたち(1944年)

空襲などにあったおもな町

1942年(昭和17)の4月から戦争が終わった1945年(昭和20)^{さんぽう}の8月までのあいだ、日本国内の以下のような町が空襲や艦砲射撃などを受けました。そして、多くの町が何回も空襲を受けました。このほかにも規模の小さなものの、軍の施設が爆撃されたものなど、実際にはもっと多くの町が空襲や艦砲射撃などを受け、全体で50万人以上^(注1)の一般住民が亡くなりました。

▼北海道 函館市	▼栃木県 宇都宮市	▼新潟県 新潟市	▼三重県 津市	▼和歌山県 和歌山市	新居浜市	串木野市
小樽市	足利市	長岡市	四日市市	海南市	高知市	阿久根市
苫小牧市	栃木市	▼富山県 富山市	伊勢市	有田市	▼福岡県 北九州市	指宿市
網走市	鹿沼市	高岡市	桑名市	御坊市	福岡市	国分市
留萌市	▼群馬県 前橋市	金沢市	上野市	田辺市	大牟田市	西之表市
旭川市	高崎市	▼石川県 鈴鹿市	鈴鹿市	新宮市	久留米市	垂水市
室蘭市	高崎市	金沢市	松阪市	串本町	▼佐賀県 佐賀市	鹿屋市
釧路市	桐生市	▼福井県 福井市	▼滋賀県 大津市	那智勝浦町	▼長崎県 長崎市	枕崎市
帯広市	伊勢崎市	敦賀市	彦根市	下津町	佐世保市	山川町
根室市	太田市	長浜市	長浜市	▼鳥取県 米子市	島原市	穎妹町
本別町	▼埼玉県 さいたま市	甲府市	▼京都府 京都市	▼岡山県 岡山市	諫早市	知覧町
▼青森県 青森市	川越市	▼長野県 長野市	舞鶴市	▼広島県 玉野市	大村市	東市来町
八戸市	熊谷市	上田市	▼大阪府 大阪市	広島市	▼熊本県 熊本市	始良町
▼岩手県 盛岡市	川口市	▼岐阜県 岐阜市	堺市	呉市	荒尾市	加治木町
花巻市	千葉市	大垣市	豊中市	福山市	宇土市	那霸市
釜石市	銚子市	▼静岡県 高槻市	高槻市	▼山口県 下関市	八代市	名護市
宮古市	船橋市	館山市	吹田市	宇部市	人吉市	沖縄市
一関市	木更津市	浜松市	東大阪市	山口市	水俣市	浦添市
▼宮城県 仙台市	松戸市	沼津市	守口市	徳山市	▼大分県 大分市	糸満市
石巻市	市川市	清水市	岸和田市	防府市	別府市	平良市
塙釜市	▼東京都 区部	磐田市	池田市	下松市	中津市	石垣市
▼秋田県 秋田市	八王子市	三島市	泉大津市	岩国市	日田市	与那城町
▼山形県 酒田市	立川市	伊東市	枚方市	小野田市	佐伯市	嘉手納町
▼福島県 福島市	武蔵野市	島田市	▼兵庫県 神戸市	光市	▼宮崎県 宮崎市	西原町
郡山市	▼神奈川県 横浜市	▼愛知県 豊橋市	姫路市	▼徳島県 徳島市	延岡市	与那原町
いわき市	川崎市	岡崎市	尼崎市	▼香川県 高松市	日南市	南風原町
▼茨城県 水戸市	平塚市	一宮市	明石市	▼愛媛県 伊丹市	都城市	伊江村
日立市	藤沢市	瀬戸市	西宮市	松山市	高鍋町	今帰仁村
土浦市	小田原市	豊川市	芦屋市	今治市	▼鹿児島県 宇和島市	読谷村
高萩市	横須賀市	半田市	伊丹市	宇和島市	鹿児島市	
	鎌倉市	春日井市	相生市	八幡浜市	川内市	
		津島市	▼奈良県 奈良市			

【注1】沖縄県では、県下で地上戦が行われ、軍人以外の一般住民の死者が約10万人にもおよびました。このため「空襲や艦砲射撃など」に限定した被災状況を把握することがむずかしいので、

「50万人以上」の中には沖縄県の人数は含まれていません。

【注2】沖縄県については、規模の大きかった1944年(昭和19)10月10日の空襲を受けたおもな市町村を記載しました。

この物語は戦争の悲惨さを次の世代に伝えるために、東京大空襲の事実に基づいて制作したフィクションです。したがって、この物語に登場した人物や団体などは実在しません。

写真提供・毎日新聞社



この本を読んで、感想や作文をお寄せください

社団法人 日本戦災遺族会

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-3 ダイアン麹町ビル4F TEL.03-3264-5287